

共楽荘診療所

援助方針

健康で快適な生活を送っていただくため、予防医学管理と、併せて持病の不快感をいくらかでも軽減することを目標とし、特に死因統計上の上位を占める心・血管系の疾患の発見、治療及び管理に重点を置き、その状態を把握し、高齢者の健康保持に努めるとともに、薬品整備及び医療機器の充実を図ります。

方針の具現化に向けて

- (1)ご利用者自身による自己の健康状態の把握
些細な不調でも積極的に受診していただき、納得の上での健康管理に努めます。
- (2)ケアワーカーへの支援
ご利用者の健康を積極的に維持するための教育、各種指導を年間計画の中で実施します。
- (3)尿路感染症、褥瘡予防対策
入院患者から尿路感染、褥瘡を発生させないために陰部洗浄の徹底、ポジショニング及びエアーマットの工夫と施行。
- (4)ICT化の推進
職員は活用するICT機器の習熟をし、業務の効率化を図り、ケアの質の向上を目指します。

共楽荘栄養管理

援助方針

ご入居者等の「食べる楽しみ」を重視した手作り料理を基本とし、安全・美味しい・食べやすい料理を提供していきます。個別に適切な栄養管理を行い、生涯経口摂取出来るよう多職種協働で支援していきます。
嗜好度が高く・季節感があり・五感を誘発する・おいしい・栄養のバランスが取れた献立作成に努めます。日々の生活に期待感や潤い、季節感をあたえる役割を担う行事食を提供していきます。
食への自立と満足度を高めるために毎月複数献立を実施、ご入居者等が自ら料理を選択、決定する機会を提供します。

方針の具現化に向けて

- (1)療養食・介護食
医師の指示により生活習慣病や咀嚼・嚥下機能障害がある方に適切な栄養管理・食形態での食事提供を行い、ご入居者等が経口摂取出来るよう努めます。なお、低栄養や摂食困難な方に対して栄養補助食品を提供します。
- (2)栄養ケア・マネジメント
ご入居者等個々の栄養スクリーニング、栄養アセスメントを行い、問題点を把握、栄養ケア計画に基づいて改善に努め、定期的にモニタリングを行います。多職種協働で栄養ケア・マネジメントを実施し、適切な栄養管理を行います。
- (3)衛生管理
大量調理マニュアル、HACCPに基づき調理室並びに調理器具類は清潔にし、検食(原材料・調理済食品)等実施し安全な食の提供をします。
- (4)災害時の対応
5日分の食料と食器類・ミキサー等の調理器具・その他調理に関する物を備蓄、ご入居者等の心の安定を保ちます。
第一糧食倉庫には食料と15回分の献立表と災害マニュアルを保管、第二糧食倉庫には濃厚流動食を2週間分備蓄し、誰でも即対応出来るよう職員に周知します。非常時に勤務している職員には食事を提供します。



共楽荘在宅福祉支援事業

援助方針

- ・ 居宅介護支援事業では、介護を必要とする状態となった高齢者やその家族に対し、自立した在宅生活を送ることができるよう総合的な相談に応じ、居宅サービス計画書(予防含む)を作成します。
- ・ 短期入所生活介護では、ご利用者が自宅で可能な限り自立した生活を送るために、入所期間中に必要なサービスを提供し、ご本人のADLの機能維持・向上、及びご家族の身体的・精神的な負担軽減を目的に、総合的な在宅生活質的向上に貢献できるサービスを実施します。
- ・ 訪問介護では、より一層各関係機関と密接な連携を図り、総合的に利用者本位のサービスが提供できるように努めます。
- ・ 施設入浴サービスでは、訪問入浴が困難で、通所サービスにおける入浴等も難しい方を対象に共楽荘特養ホームの特殊浴槽を利用して快適な入浴のサービスを提供をします。
- ・ 共楽荘きずなお弁当事業では、日常生活において食事準備を自立して行うことが難しい高齢者に対し、食生活の安定と安否の確認、相談を主眼としたサービス提供をします。

方針の具現化に向けて

- (1)居宅介護支援事業
 - ①居宅サービス計画の作成
要介護認定の申請やサービス提供確保、事業者等との連絡調整を行います。
 - ②介護保険認定調査
契約した市町村より委託を受けた介護保険認定調査を行います。
 - ③地域貢献
地域ケア会議や他の居宅介護支援事業所との勉強会等に積極的に参加します。
 - ④介護支援専門員の質の向上
介護保険サービス以外にも、医療、障害等の社会福祉制度の理解を深め、自立支援や公正中立な居宅サービス計画書の作成に努めていきます。
- (2)短期入所生活介護
 - ①ケアマネジャーやご利用者及びご家族と密なコミュニケーションをとり、地域のニーズに迅速柔軟に対応します。
 - ②積極的な挨拶、ご家族と密なコミュニケーションを図り、気持ちのいいサービス提供をします。
 - ③送迎時間にゆとりを持ち、送迎中の事故0を継続し安全な送迎を行います。
- (3)訪問介護
利用者が安心して自宅で暮らせるよう、サービスを提供します。
- (4)施設入浴サービス
要介護1～5の認定を受けている方で、自宅が狭く訪問入浴サービスが難しい、通所サービスに長時間滞在することが体力的に難しい等の事情がある方を対象に特殊浴槽を使用した入浴サービスを実施します。
- (5)共楽荘きずなお弁当事業
平日(年末年始、祝日の除く)の夕食提供をし、栄養のバランスはもとより、ご利用者の健康状態、摂食状態に合わせた療養食や安全で美味しく食べやすいお弁当を提供します。

共楽荘通所介護福祉サービスセンター

援助方針

法人の基本理念に基づくご利用者およびご家族、介護者との「きずな・信頼関係の構築」を大切に『ご利用者と家族に喜ばれるデイサービス』を目指し、創意工夫を重ね顧客満足度の向上に努められるよう業務展開します。そのために以下の目標を挙げ、目標達成をします。

方針の具現化に向けて

- ①ご利用者のニーズを満たすため、健康状態や体力等により、利用時間調整、地域のニーズに迅速柔軟な対応をします。
- ②レクリエーション、体操、運動器具など日課の充実により心身機能の維持向上だけでなく、有家族世帯や高齢者世帯、独居世帯に合った個別援助を中心にサービスの質の向上を目指し、通所計画に沿ったケアの提供をします。